

2016年11月17日

報道関係各位

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

**2016年度「PRアワードグランプリ」
「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」の各賞を
12月7日(水)開催の最終選考会で選出・決定
「ブロンズ」受賞10作品が決定**

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（理事長：近見竹彦）は、このほど、2016年度「PRアワードグランプリ」グランプリ候補選出審査会を開催し、12月7日に開催予定の最終選考会に臨むグランプリ候補9作品を選出いたしました。

あわせて「ブロンズ」受賞となる10作品を決定いたしました。

今年度のPRアワードグランプリには、過去最高となる107件（昨年度：57件）のエントリーがあり、PR（パブリックリレーションズ）への高い関心が寄せられました。部門別の応募内訳ならびにグランプリ候補9作品、「ブロンズ」受賞が決まった10作品は以下のとおりです。

《部門別 応募内訳》

コーポレート・コミュニケーション部門	： 14 作品
マーケティング・コミュニケーション部門	： 40 作品
ソーシャル・コミュニケーション部門	： 25 作品
インターナル・コミュニケーション部門	： 22 作品
研究・開発部門	： 6 作品
合計	： 107 作品

（2015年度は合計 57 作品）

《グランプリ・ゴールド・シルバー候補》（9作品・エントリー順）

以下の9作品の中から「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」の各賞を決定します。

■ PRのチカラでウナギの絶滅を防げ！

「近大発ナマズ」の研究・広報一体化コミュニケーション戦略

(マーケティング・コミュニケーション部門)

エントリー会社：学校法人 近畿大学

事業主体：学校法人 近畿大学

■ 『美婆伝(びばでん)』 90歳を越えても美しく働き続ける11人の物語～ポーラ、ビューティーディレクターの仕事への「誇り」「やりがい」を醸成する取組み～

(インターナル・コミュニケーション部門)

エントリー会社：株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

事業主体：株式会社ポーラ

■ カルビーフルグラ 2011年から2016年度までの5年間で売上37億→223億まで成長させた朝食革命

(マーケティング・コミュニケーション部門)

エントリー会社：株式会社博報堂／株式会社エムスリー・カンパニー

事業主体：カルビー株式会社

■ 森永製菓 『フレフレ、部活。母校にinゼリー』キャンペーン

(マーケティング・コミュニケーション部門)

エントリー会社：株式会社電通

事業主体：森永製菓株式会社

■ SEKI シティプロモーション

(コーポレート・コミュニケーション部門)

エントリー会社：関市／株式会社オズマピーアール

事業主体：関市

■ LOVE THERMO #愛してるで暖めよう

(マーケティング・コミュニケーション部門)

エントリー会社：株式会社 電通パブリックリレーションズ / 株式会社電通
/ 電通アイソバー

事業主体：パナソニック株式会社

- スマートフォン（スマホ）での領収書電子化と原本の長期間保管義務撤廃を実現する規制緩和 PR プログラム～日本企業の利益率とビジネスパーソンの生産性向上を阻害する紙での経費精算業務を駆逐し、働き方革命実現へ～

（コーポレート・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社井之上パブリックリレーションズ

事業主体：株式会社コンカー

- 心臓病の子どもたちの“初めての運動会” ～Challenging Heart Day～

（コーポレート・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社オズマピーアール

事業主体：アッヴィ合同会社／全国心臓病の子どもを守る会

- ADK RECRUIT 2017 相棒採用

（コーポレート・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社 アサツー ディ・ケイ

事業主体：株式会社 アサツー ディ・ケイ

《ブロンズ受賞作品》（10作品・エントリー順）

- プロフェッショナル私の流儀 ～NHK 番組公式ジェネレーターアプリ～

（マーケティング・コミュニケーション部門）

エントリー会社：日本放送協会

事業主体：日本放送協会

- ソーシャルメディア時代の“技術訴求コンテンツ PR”

プリウス部品の擬人化キャンペーン 『PRIUS! IMPOSSIBLE GIRLS』

（マーケティング・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通

事業主体：株式会社トヨタマーケティングジャパン

- 『心止村湯けむり事件簿 | AED サスペンスドラマゲーム』
～ユーザーとメディアが自ら広め続ける「エンタメコンテンツ PR」～
(ソーシャル・コミュニケーション部門)
 エントリー会社：株式会社 大広
 事業主体：減らせ突然死プロジェクト実行委員会／日本循環器学会

- 奈良大学 全学学生プロジェクト 美し記 ～utsukushiki～
(コーポレート・コミュニケーション部門)
 エントリー会社：株式会社博報堂
 事業主体：学校法人 奈良大学

- 10分どん兵衛
(マーケティング・コミュニケーション部門)
 エントリー会社：株式会社電通
 事業主体：日清食品株式会社

- 広告会社だからこそその休暇取得促進施策「BRUTUS 特別編集フリバカノカタログ」
(インターナル・コミュニケーション部門)
 エントリー会社：株式会社博報堂／株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
 事業主体：株式会社博報堂 人事局
 ／株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 人事局

- 世界初！オンライン会議システム×メーキャップシミュレーター機能で、オンライン会議のためだけのメイクから在宅勤務女性を開放する新アプリ「TeleBeauty（テレビューティ）」発表。
(ソーシャル・コミュニケーション部門)
 エントリー会社：株式会社資生堂／株式会社博報堂ケトル
 事業主体：株式会社資生堂

- アクビュー® スポ×コン応援団「読めない看板」
(マーケティング・コミュニケーション部門)
 エントリー会社：株式会社プラップジャパン
 事業主体：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
 ビジョンケア カンパニー

■ 企業サービス浸透プロジェクト「史上初、Airbnb で東京タワーに泊まろう！」

(マーケティング・コミュニケーション部門)

エントリー会社：Airbnb Japan 株式会社／株式会社プラップジャパン

事業主体：Airbnb Japan 株式会社

■ Second Life Toys

(マーケティング・コミュニケーション部門)

エントリー会社：株式会社電通

事業主体：公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

2016 年度 PR アワードグランプリ 「グランプリ選出審査会」 開催概要

○日 時 2016 年 12 月 7 日 (水) 13 : 30-18 : 00

○場 所 六本木アカデミーヒルズ 49 「オーディトリウム」

○審査委員長 (敬称略)

嶋 浩一郎 株式会社博報堂ケトル 代表取締役社長・共同 CEO

○審査委員 (敬称略／氏名 50 音順)

雨宮 和弘 クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役

上岡 典彦 株式会社資生堂 コーポレートコミュニケーション本部 広報部長

遠藤 祐 株式会社オズマピーアール 取締役 副社長

小林 右樹 一般社団法人企業研究会 研究協力員

中里 忍 ブルーカレント・ジャパン株式会社 バイスプレジデント

松本 洋司 株式会社電通パブリックリレーションズ 関西支社 次長

吉宮 拓 株式会社プラップジャパン 執行役員 第 2 コミュニケーションサービス本部 本部長代理

○特別審査員 (敬称略／氏名 50 音順)

阿久津 聡 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科教授

大宅 映子 ジャーナリスト・評論家・コメンテーター

田中 里沙 事業構想大学院大学 学長／宣伝会議 取締役メディア・情報統括

○進行（予定）

- 12：30 開場、受付開始
- 13：30 グランプリ候補9作品のプレゼンテーション
プレゼンターと審査団との質疑応答
- 15：55 (coffee break)
- 16：10 トークセッション（審査員は別室で最終審査）
- テーマ PRの未来 –世界の潮流から読みとくPRの本質–
 - モデレーター 森下郁恵氏（『広報会議』編集長）
 - スピーカー 本田哲也氏（ブルーカレント・ジャパン株式会社
代表取締役社長/CEO）
井口 理氏（株式会社電通パブリックリレーションズ
コミュニケーションデザイン局長/チーフ・プランナー）
- 17：10 休憩
- 17：20 「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」各受賞作の発表
審査団による審査講評
審査委員長および特別審査員による振り返り
- 18：00 終了

なお、引き続き同会場で「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」各受賞作の表彰式を行います。

また、「PRアワードグランプリ」グランプリ選出審査会は公開で実施します。

聴講希望者は下記URLからお申し込みください。

※ 11月24日から受け付けを開始します。

https://39auto.biz/pr-shikaku/touroku/award_tyouko.htm

ただし席数に限りがあり、応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。
お席が確保できなかった方、及び当日受付の場合、立ち見となる場合がございますので、
予めご了承ください。

●この件に関するお問い合わせ
公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
担当： 福家・渡邊・木崎
TEL： 03-5413-6760

参考資料 1

<応募部門について>

■ コーポレート・コミュニケーション部門

社会の支持と理解を得て、企業・公共機関・団体の活動を円滑に推進するためのコミュニケーション活動

※日常的な広報・PR活動、ブランディング、レピュテーションマネジメント、危機管理対策など

■ マーケティング・コミュニケーション部門

商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動

※イベント・キャンペーン、パブリシティ、ウェブサイト、ソーシャルメディア（ブログ、フェイスブック、ツイッター等）、各種アプリ、カスタマーリレーション施策など

■ ソーシャル・コミュニケーション部門

社会の重要な構成員として企業・公共機関・団体の果たす社会的役割の訴求や社会貢献はもちろん、積極的に社会の発展や環境の維持発展などを目的としたコミュニケーション活動

※CSR活動、環境コミュニケーション、NPO、NGO活動など

■ インターナル・コミュニケーション部門

組織内における所属員へのビジョンの浸透、価値観の共有、行動喚起、内部コミュニケーションの活性化など、インターナル・ターゲットに対する広義のコミュニケーション活動

※内部向けコミュニケーションシステム、ツールの開発、継続的な内部向けイベントメディアを通じた活動など

■ 研究・開発部門

独創的なアイデアや手法で広報・PR全体の革新や個別業務の発展に寄与貢献した活動

※理論・研究、人材育成、マネージメント、及びサービス・技術・システム・ツールなどの開発や実践

参考資料 2 <公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について>

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本PR協会(PRSJ))は、1964年に結成された日本PR協会と、1974年に設立された日本PR業協会が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む約520名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益法人の認定を受け、公益社団法人となりました。

主要な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」の刊行、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与し奨励に値する成果を収めた人物を表彰する「日本PR大賞PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年からは、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など、幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月には、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を新たに開講いたしました。

また2010年4月に「広報・PR概論(PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト)」、2011年3月に「広報・PR実務(PRプランナー資格認定制度2・3次試験対応テキスト)」、2012年4月に「広報・PR資格試験問題集PRプランナー資格認定制度1次・2次・3次試験過去問題集」を出版するなど、各種の事業を通じて、広報・PRの普及と発展に寄与しています。